生涯の歯と口の健康を支えよ

自由民主党議員団　山内　あきひろ



①9～10カ月児健診に「歯の萌出チェック」の追加を都に訴えては。②20代及び30代を対象とした成人歯科健診を導入しては。③75歳と80歳の間の76～79歳の空白を埋める切れ目のない高齢者歯科健診体制を整備しては。④運営体制確保に向け、スマイル歯科診療所の委託料を適正に改定するなど支援を行っては。

区長　①項目追加を都に働きかけている。②対象の拡充を検討する。③事例を研究する。④委託料は適正に算定しており、人材育成や事業承継に必要な支援を検討する。

若者の居場所を拡げよ

①札幌市の先進事例に学び、区内全中学校を直接訪問して卒業前の状況を確認し、若者の現場へ出向く攻めのアウトリーチ体制を構築してはどうか。②サポステ事業を若者支援センター内に誘致し、相談から就労まで一貫支援しては。③中高生や若者が求める機能を既存施設へ積極的に導入し、予約優先枠を設けるなど、膨大な予算をかけず既存施設をサードプレイス化しては。

区長　①他自治体の先進事例を参考に手法や効果を研究する。②誘致の考えはない。③事例を研究し、利用促進につながる取り組みを行う。

障がい者とご家族への支援を

公明党議員団　平山　英明



①スマートフォンを使った手続きが増えている。スマホやタブレットを日常生活用具の給付品目に加えるべきでは。②在学中はICT機器の活用・学習環境が整っているが、卒業後に個人で同様の機器環境を維持・継続する公的助成が十分ではない。また、意思表出・生涯学習を目的としたICT支援が「訓練等給付」の枠組みである構造的課題もある。学ぶ権利の継続のため、解決すべきでは。③スマイル歯科診療所は障がいのある方等の口腔ケアを担う中野が誇る先進モデルであり、事業継続は欠かせない。専門医等の育成、引き継ぎでの人件費等を委託に含める検討をすべきでは。④公設のグループホームが望ましいのではないか。

区長　①継続して見直しを図る。②他自治体の取り組みや制度上の整理も踏まえ、支援の充実に努める。③必要な支援を検討する。④公設での整備も含め、効果的・効率的な方法を検討する。

中野駅周辺まちづくりにインクルーシブデザインの観点を

①ユニバーサルデザインが基本であるが、今後は障がい者をデザインのパートナーとし、スマート改札の導入等AIやICTを駆使した近未来モデルとなる整備を目指しては。②改定する中野駅新北口駅前エリアの計画に加えては。

区長　①インクルーシブの視点も配慮する。②理念を踏まえ、誰もが利用しやすいまちづくりの検討を進める。

防災倉庫の規模を拡充せよ

資機材が増えて取り出しが困難との声がある。更新時に大きいものへの変更や、求めがあればサイズアップの協議を行う体制を構築すべきでは。

区長　地域の需要と公園機能への影響を考慮し、関係所管と調整して対応する。

ICTを活用した国際交流を推進せよ

立憲・国民・ネット・無所属議員団　大塚　けいじゅ



オンラインによる国際交流には、様々な課題があると想定されるが、課題を整理し、台北市の学校とオンラインの国際協働型学習を実施しては。

教育長　課題を整理した上で、学校の意向も踏まえながらモデル校を選定し、実施に向けて検討していく。

中小企業に寄り添った支援を

①中東情勢対応資金においては、あっせんから融資実行までに約4週間かかっている。不安を抱える中小企業のため、取扱金融機関に対し、受付時の所要期間の説明や、審査が長期化した場合の進捗連絡について協力を求めてはどうか。②金融機関と意見交換を行い、申し込みの集中で生じた課題や好事例を共有し、今後の制度改善に生かすべきでは。

区長　①標準的な所要期間や進捗状況を案内していただくよう協力を求め、事業者が安心して制度を利用できるよう努める。②今後、意見交換を行い、課題や改善点等を把握するとともに、制度の効果や運用面について検証していく予定であり、制度の利便性や実効性の向上に繋げる。

当事者の声を聞いたインクルーシブな公園を整備せよ

インクルーシブ遊具を導入する公園周辺の区有施設のトイレには、ユニバーサルベッドの配置を検討すべきでは。

区長　施設種別等から、一律に配置することは難しいが、配置の在り方を検討するに当たり、インクルーシブ遊具を導入する公園周辺の区有施設への配置も考慮したい。



ご当地ナンバーの導入を推進せよ

自由民主党議員団　大内　しんご



①ご当地ナンバーについて、中野区と、新宿区または渋谷区の自動車登録台数を合わせた場合、要件を満たすのか。②来年度以降の次回募集に向け、近隣区に新たなご当地ナンバー協議を働きかけては。

区長　①合わせると制度上の登録要件を満たす。②近隣区との協議については、自ら声をかけ、働きかける。

屋外運動施設の酷暑対策を

①子どもたちのために、少年スポーツ施設である平和の森公園、本五ふれあい公園、白鷺せせらぎ公園などで、酷暑対策を講ずるべきではないか。②上高田野球場ベンチに移動式スポットクーラーなどと、更衣室前の休憩用ベンチにテントや、ミストシャワーなどを設置してはどうか。

区長　①夏季の早朝開放以外も検討する。②更なる酷暑対策を検討する。

未利用地の有効活用を図れ

長年閉鎖管理され、維持費がかかる旧北部教育相談室と旧鷺宮すこやか福祉センターの跡地活用として、建物を解体して暫定的に時間貸し駐車場等にするなど、検討しては。

区長　今後、建物を除却した土地の暫定活用についても検討を進める。

まちづくり時のデータ取得と分析の必要性を問う

立憲・国民・ネット・無所属議員団　杉山　司



まちづくりとは、そのエリアの課題を解決しつつ、新たなまちを形成することである。整備後は効果を検証し、想定した効果が得られない場合は、対策を講じなければならない。そのためには、データが必要である。①スマートフォンの位置・人流データ、ナカペイ利用データなどの各種デジタルデータを分析し、活用していくべきではないか。②サーモグラフィや浸水データ、風力データなども取得しつつ、行政が俯瞰的な視点でデータを検証し、必要に応じて指導などを行うべきではないか。

区長　①データの有用性について研究したい。②建物所有者に対し情報を共有し、必要に応じて対策を促したい。

中野区×台湾アニメの制作を

①双方を舞台としたアニメコンテンツを制作すべきである。双方のアニメ制作会社などを交え、まずは区主導で実現の可能性を協議しては。②「聖地巡礼」など、完成した作品を観光資源として活用し、中野ツーリズムなどの環境を整備していくべきではないか。

区長　①実現の可能性を探っていく。②観光振興につながる取り組みを検討する。

「はじまりの街・中野」を問う

区が持つ「はじまりの街」という唯一無二の価値を「表現者のたまごが最初に選ぶ街・中野」へと更に発展させ、次世代へ引き継ぐべきでは。

区長　区の価値を高め、シティプロモーションに生かし、次世代へ引き継いでいく。

区有施設の予約を柔軟化し区民の利便性向上を図れ

自由民主党議員団　武井　まさき



①新しい施設予約システム導入後の予約や支払い方法、画面の操作性について、区は利用者からの意見・要望を把握しているのか。②今後のシステム改修や運用改善にどのように反映していくのか。③現在の利用時間の区分について、利用者のニーズや施設の利用実態をどのように捉えているのか。④区民活動センターなど、現在の固定的な時間枠にとらわれず、施設や時間帯に応じて、柔軟な利用時間の設定を検討してはどうか。

区長　①抽選や手続きに関する問合せを受け、利用ガイドの改定などを行っている。②必要性や優先度を精査し、より使いやすいシステムへの改修を検討していく。③利用者からの意見・要望などを通じて利用実態の把握に努めている。④施設の特性や時間帯に応じた、柔軟な利用時間の設定を研究する。

補助金の交付手続きを見直し防犯カメラの設置を促進せよ

補助金の概算払いや受領委任払いを導入することで、地域団体が設置費用を全額立て替えることなく、より利用しやすい制度に見直すべきでは。

区長　一時的な資金負担が設置促進の妨げとならぬよう、概算払いの検討を進める。

道路大会に参加



第37回東京都道路整備事業推進大会が、10月13日、砂防会館で開催されました。

中野区からは、議長をはじめとする議員代表のほか、関係職員などが参加しました。